

《回想》



第21号

秋の学舎祭における合評会では、剣道部が毎年一位。伝統が途切れてはいけません。勝努力しました。もちろん、勝ちました。勝つと気分が高揚し、どんどん「笑い」の渦に巻き込まれていくのです。さらには夏と春の合宿に來られる多くのOBの方々から「おもしろい！」という言葉をいただくために、頭とカラダを駆使しココロを込めたおもてなしなど、全てを書くことはできませんが、ここで学んだこ



とは社会に
出て役立ち
ました。同
期の男子が
いつもネタ

帳を持って、何か芸に通ずるものはないかと探していたことも今では懐かしい思い出のひとつです。

主将を中心にさまざまなことを自分たちで考え部を運営し稽古する、「自治」組織の在り方も大学ならでは、とても新鮮でした。今となつてはだまされて（？）入部し、続けることになった剣道でしたが、現在に至るまで剣道が常にそばにあり、私にとつてかけがえのない大きな財産です。就職後も剣道部顧問として生徒と共に汗を流し、涙を流し、また、大会や国体等を含めて式典進行にも携わることができました。

現在、管理職となつて五年、最後の年を迎えています。間違いなく私の人生を彩る大切なもの、それが「二松学舎大学体育連合会剣道部」です。



ま。……ここからは、メールのやり取りを（披露致します。）

・弾丸ツアー、京都からシャトルバスで一泊行ってきました。縛りがありすぎて、たけちゃん（同期柔道部・我孫子下宿の先輩）には合いませんでした。

・インターハイ、山陰で開催だったので応援に行きました。行きは新幹線から姫路城を眺め、大雨で予定変更し、帰りましたが、はくと言で姫路乗り換えしました！

・次々と新しい業務が降ってきています。今は震災後の経済同友会からの学校施設設備への寄付受納というものが来週あり、対応しているところです。

（先輩は現任校長先生）

・明日は野球部の大会へ激励に行く予定です。

・この2年は、学校が相撲専門部なので、相撲の大会行ってます。土俵が上がって挨拶までしてるのよ！

（大阪府知事と同じ）

・慣れましたが、はじめは独特の雰囲気も相まってとても緊張しました。

・卯辰山というところで、5月に全国大会が毎年あり、そこでも歓迎挨拶。人生何があるかわかりませんね。これもまた人生。

(写真) (上) 妙高高原夏合宿
(右上) 一年生卒業式で先輩と
(下) 石川県立卯辰山相撲場



昭和59年卒（52回生）14回生

高塚 正則

「元刑事の記憶」NO.3

なんか考えている（刑事部屋）

「敬愛する東北出身のK先輩」
「カタカナ音痴」

敬愛する先輩の話をします。先輩はカタカナが非常に苦手で憎めないタイプの男性OBです。紹介しますね。

無線手配で「逃走車両はフェアレディ乙…※似ているが」、「静岡本部からスカイラーク1号…

※正しくはスカイふじという県警ヘリ」、行方不明者の搜索範囲を「むあんからマックスバリウム…説明不要」、デジカメが普及しとにかく現場画像を撮れという教養に講師として「デジカメでなんでも撮れ」、話が進むうちに「ラジカメで…」と、新兵器を発表し講義の終わりに「ラジカセで…」と、もはや撮影機能は排除されていたのです。これら作り話のようですが本当にあった話です。

「職業病であろう」

みなさんも刑事ドラマ観ますよね。そこで私を含め多くの刑事経験者は素直に観れないであろうという話をします。

まず、事件現場に先着した鑑識係から「死因は鋭利な刃物による失血死、凶器はこのナイフ、死亡推定時刻は昨夜10時から11時つてとこね」というお決まりの台詞。

ご遺体の服も脱がせていないのにこんなにはわかるはずなのに。

また、みんなマスクもせずにしゃべりまくっていること、いまだ白綿手をしていること。コンタミネーション（混入）が気になって仕方がありません。

遺留品を発見し「ありましたー」と喜んで上司のもとに持ってきますが、まず写真撮影、鑑識を入れて鑑識活動、遺留品の保護です。血痕のついた刃物をビニール袋に入れていますが、専用の箱に入れないと刃物についた血痕、指紋、DNA資料が壊れてしまいます。防カメの画像を鮮明化してナンバー、人物などを特定していきますが画素の荒い画像の鮮明化には当然限界があります。ちよつと鮮明にしすぎですよ。

よく許諾が得られたと他人の家をガサくつていますが、裁判所の令状もなくガサをすると憲法第35条に触れますので我々はまずそんなおっかないことしません。

続けて、殺人の取り調べなのに録音録画している様子がないこと。刑事が留置施設に入って鉄格子越しに

被疑者と話していること（留置分離）。

などなど、他にもありますが、勿論ドラマ上の演出によるものだと無理解していますし、好きな刑事ドラマは没頭もします。どうか面倒くさい奴と思わないでください。

※尚、モザイク状の文字などを明暗の状態から推定するシステムが実践活用されているなど科学捜査は日々進化中です。

「罰と償い」

テレビドラマなどで出所した者のことを「罪を償い終えた」と表現していることがよくありますよね。罪自体については償ったと表現しても間違いないかも知れませんね。

しかし、罰は受けるものであり自発的なものではないと考えると罰を受けて償ったというのは矛盾を感じます。償うべきは被害者などなのです。刑事罰、民事補償の違いです。受動的か能動的かという決定的な違いがあるのです。

「危うく誤認逮捕」

もう30年くらい前でしょいか。

県東部警察署刑事一課時代、管内で出店荒し事件がありました。侵入口となったガラス窓はドライバー様のもので当て割りされ、鑑識活動の結果、そのガラスから採取した指紋がある前歴者のものと一致しました。

逮捕状を請求したところ発付されたことから朝一この男性を住居地最寄りの警察署に招致し取り調べまし

た。ここで説明しておく、逮捕状があるのにいきなり逮捕せず呼び出しにしたのは犯人と疑うに足りる証拠が指紋のみであったこととその採取箇所が破られた箇所直近ではなかったことから逮捕には慎重にならざるを得なかったからです。

よく話を聴くと被害の店舗にはリフォームの仕事で行ったとのことであり、つまり指紋が付いているのも当然であり、親方からも裏付けが取れ事件当日のアルバイトも取れたのです。勇足で逮捕しないでよかった。その男性のことも昔ヤンチャだったばかりに疑ってしまいごめんなさい。

※「職業病であろう」の内容、テレビ見てあるあるです。特に、時代劇の切り合いのシーン、演劇指導があるでしょうが、なぜあんな間合いで平然と切れるのか？あゝえへん、って声出すと、うるさい！って怒られます。（）



上記は、高塚先輩が描かれた「清水寺の横っ面」。僕はこの絵が好きです。

昭和64年（平成元年）卒（57回生）
19回生 **船曳 泰夫**
「2025年7月18日
（東京・千葉柏・松戸）紀行」



松学舎松苓会
高柳事務局

今年5月、母校二松学舎大学の書道の恩師 源川彦峰先生から、7月に最後の書道個展を開催する連絡を頂きました。日が近づくにつれ行事が3つ近接し諦めていたところ、家内が「最後なんやから」、と後押しされ、調整して17日姫路発の夜行バスでいざ東京へ。

今回の状況イメージは、防具もって上京。靖国神社・泉岳寺・全生庵に参拝。松苓会ご挨拶・柏の源川先生個展・松戸の松風館（岩立範士）稽古、東京発夜行バスで帰郷。

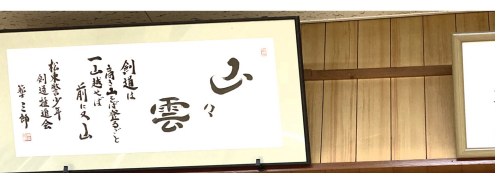
現実には、夜行バス到着付近の首都高速で大渋滞。到着は30分遅れ。朝食無しで母校へ。二松学舎松苓会生と合流。「法定形」打太刀・仕太刀を見



また、学生支援課の三島課長にも今回の上京に際してご対応頂きました。ご多忙な中ありがとうございました。心強い限りです。おっと、携帯が鳴る。長谷川先生でした。

松風館で法定形をやっているから可能ならおいでと。「はい」、って言って失礼ながら松苓会事務所を後にしました。九段坂では、昼食後の三島課長とお会いして列れ、弊方地下鉄へ向かいました。

新松戸。岩立範士の松風館へ。長谷川先生と合流。「法定形」打太刀・仕太刀を見

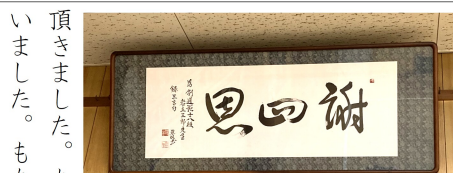


松風館道場には額がたくさん掛かって有ります。岩立範士はもちろん、故高崎範士揮毫も有りますのでご披露させて頂きます。



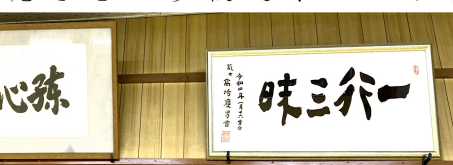
さて、遅い昼食、どこで食べようか？迷った挙句うどんにしました。かき揚げも食べて稽古に挑みます。

携帯で何とかたどり着き、まずはトイレ。一呼吸して会場へ。「先生、ご無沙汰致しております、と、言おうの前に機先を制され、いつものごとく圧倒されました。昼ごはんも忘れ、関係者の方々とお話を聞き、先生の人生観を垣間見、改めて勉強させて頂きました。



す。気なんじゃないかと思ひます。

稽古は二松学舎大学師範 渡辺先生と八段の先生・参加者の方々に稽古を頂きました。ありがとうございました。もちろん、岩立先生からご指導頂きました。終了後には、先生からシャワーを浴びて帰りなさい。パスの同乗者が迷惑するから。と、甘えさせて頂きました。ありがとうございました。



齊藤先輩から

(右) 6/23 (松山) 井口先輩
(左) 6/24 (高知) 渡辺先輩とバドの足達先輩

全国からの写メール



《紀行続編 「福岡」 船曳》

本年8月10日、線状降水帯により山陽新幹線が広島で止まった。8月11日の運転再開はわからない。実は福岡の甥っ子の結婚式で既に切符は手配済み。だけれどどうなるかわからないため念のため時間変更を「みどりの窓口」へ急ぎ駆け付けた。親の車椅子の事もあり、少々複雑な依頼にもかかわらず、JR駅員さんは親切丁寧に対応頂いた。しかしながら、だいぶ時間がかかったため後ろで待っていた方にはご迷惑をかけてしまった。申し訳ありません。

切符変更は確保したものの、当日の天候・運行はわからない。11日の早朝、携帯でJR新幹線状況をチェック。通常運転になっている。でも博多まで。行先はちよつと博多なので「よし」と。いざ博多へ！岡山で乗り換えのぞみに。なんと連結のところで立った乗車の方が多し。車掌さんが巡回して指定席料金を払っている方も居られた。新幹線運行状況が影響なんだ。

博多到着。なんと、九州新幹線がストップしているため新幹線ホーム・改札までの空間、改札出てからの空間、人でごったがえしていた。テレビカメラも数台。この状況に身をまかせ。後はあまり雨にもかかわらず、いや、荷物を姉の家に置く際、強烈な雨に遭遇。その後は被害にあわず順調。時間調整の為、映画「国宝」を観賞。



久しぶりのホテル。朝から風呂に2回。朝食もたっぷり。別府で露天風呂。昔は温泉たまごでしたが、温泉プリンののぼりが…。食べませんでした。

湯布院についてお風呂。合計4回入りました。翌朝も朝風呂2回、朝食も美味しく頂き、博多へ。

福岡に入って昼食は「せいろむし 鰻めし」。焼きとは違い美味しい！（もち並）でも一つ問題が。重のしたせいろ部にお米が詰まってしまう。でも改善点が。下からせいろを上げてお米をよそつ。ご馳走さまでした。福岡駅到着。夕ご飯を。姉が指定したのは、なんと弊方福岡での七段審査受審時に食したお店。卵焼き・トン汁・ご飯。感慨深く同じ品を頼みました。福岡の先輩、車椅子係・姉妹が居ましたので…。連絡せずに福岡に入りました事申し訳ありません。※次号（岡山偏）、お楽しみにして下さい。（一）

NHP (二松剣ハイスラン) 心と体の栄養源

ランナー

志賀 泉
Shiga Izumi

爆心地

そこがどこであれ
君が走る場所が
爆心地だ

剣道日本

和風スポーツバー
残心 ZANSHIN

TEL.03-6907-0310

東京都豊島区南池袋2-26-10
アクティオーレ南池袋 3階
営業時間 17:00~24:00
金・土（祝前日）~ AM4:00
昼ランチ（ランチ）11:30~14:00
FAX. 03-6907-1902
http://www.zanshin.tokyo
info@zanshin.tokyo

もちり麦

調剤薬局専用商品